



中国語スピーチコンテスト開催される



3月10日(日)Fプレースにおいて第3回湘南中国語スピーチコンテストが開催されました。今回は大学生の出場はありませんでしたが、高校5校から13人の高校生が出場しました。

開会の挨拶では増田会長から、聶耳氏を絆とする藤沢市と昆明市の友好都市提携の経過と、このスピーチコンテストを通じて日中友好の種を蒔き、将来の日中友好の花が咲くことを期待していると述べられました。またご来賓の鈴木藤沢市長や杜柯偉駐日中国大使館公使などからご祝辞がありました。鈴木市長は「このような日中の青少年交流の機会をつくり、藤沢市と昆明市の相互理解を深めていきたい」と述べました。また杜柯偉公使は「国と国の交流は人と人の相互理解によって築かれ、相互理解は心が通じ合うことから生まれる」と述べ、両国の平和友好関係を深めるためには、お互いの国に対する理解を深めることが必要だと強調されました。

今回のコンテストは「中国語の魅力」という課題テーマについて、日頃学んだ中国語による3分間のスピーチを行いました。「日本には中国人観光客がたくさん来るので、彼らと中国語で交流したい」「三国志の話にとっても興味があります。中



増田会長と松永さん(右)、尾作さん(左)の二人

国語をよく勉強して日中文化交流の歴史を理解したい」など中国語に対する高校生らしい一人ひとりの思いが語られました。会場には多くの市民も来場し、出場者の熱心なスピーチに耳を傾け一人ひとりに大きな拍手を送っていました。

審査の結果、優勝は松永侑奈さん(県立藤沢総合高校)、準優勝(二等賞)は尾作羽菜さん(県立横浜総合高校)がそれぞれ入賞しました。お二人は副賞として8月に藤沢市の友好都市である昆明市に招待され、昆明市の高校を訪問しての日中の高校生どうしの交流が予定されています。

昆明で彩雲基金日本語スピーチコンテスト



4月20日、雲南省翻訳者協会日本語分会主催による第14回彩雲基金日本語スピーチコンテストが昆明市の雲南大学呈貢キャンパスにおいて開催され、主要大学8校から選抜された日本語を専攻する学生16人が出場しました。前半の命題スピーチと後半の即興スピーチによる熱い戦いが展開されました。今回は5年ぶりに大学キャンパスを会場に行われましたが、昆明市内もポスト・コロナの平常な生活に戻っていることを実感しました。審査の結果、優勝は雲南民族大学4年の劉芳菲さん、準優勝は同大学1年の成誉豪さんとなりました。二人は7月に日本研修旅行に招待され、大学での交流をはじめ日本文化体験や、江の島、鎌倉、箱根、東京などの観光も予定しています。

ホストファミリーのお願い



今回の彩雲基金で日本研修旅行に招待された劉芳菲さんと成誉豪さんのホームステイを引き受けていただけるホストファミリーを探しています。7月15日(来日)～22日(帰国)の1週間の日程です。上野あてご一報お願いします。

湘南日中総会のお知らせ

2024年度湘南日本中国友好協会総会を次のとおり開催いたします。総会と講演会の会場は昨年と同様の藤沢市役所5階の市民利用会議室2となります。

- ① **総会** 6月22日(日)午後2時～3時
- ② **講演会** // 午後3時～4時30分
テーマ 「中国経済と習近平政権の行方」
講師 津上俊哉氏(日本国際問題研究所)
- ③ **懇親会** 午後5時～
さいか屋藤沢8階「煌蘭」 会費6千円
(事前申込でお願いいたします)

総会と講演会の終了後、「煌蘭」に移動して懇親会を行います。詳しくは会員あての「湘南日本中国友好協会総会のご案内」をご覧ください。

「再会长江」上映会開催される



4月15日、日中友好会館において、雲南聯誼協会、湘南日中、中国大使館などの後援による竹内亮監督のドキュメンタリー大作「再会长江」の上映・交流会が開催されました。湘南日中から6人が出席し、主役のチベット族の茨姆(ツーム)さんを囲んで交流し彼女が住む雲南省シャングリラに思いを寄せました。

事務局から 第14回彩雲基金日本語スピーチコンテストに出席するため、会員など11人で7/18～22に昆明市を訪れた。市内観光で目にしたジャカラダの並木(藍花楸)は見事であった。まさに「お花見」で多くの市民が訪れていた。和名を紫雲木と言い、もとは中南米原産で今は世界各地で植えられている。(上野)

